

令和5年第2回黒部市議会3月定例会

提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人） 通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 高野早苗	<p>1 令和5年度当初予算案の重点事業について</p> <p>(1) 「住む人が輝き、人が人を呼び込む」まちづくり政策の推進事業 市長が公約で掲げた施策について「黒部の未来枠」を設け、新たなまちづくりに向けた取り組みを推進していくとの事です。人口減少や少子高齢化など難題が山積みする中で、これら施策を予算特別枠「黒部の未来枠」とした考えについて伺う。</p> <p>(2) 「住む人が輝き、人が人を呼び込む」まちづくり政策の推進事業 施策における各事業には新たな取り組みも多く、時間とコストとともに長期的なモデル、視点も必要と思われる。地域資源活用策、本年度の取り組み並びに長期的事業モデルを個別事業ごとに伺う。</p> <p>(3) 「新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰対策等の推進事業」 新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げられるが、市民生活はどのように変わるのか。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業費が令和4年度の5,715万円から令和5年度は260万円に減額される。医療費はどのように変わるのか伺う。</p> <p>(4) 「新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰対策等の推進事業」について 物価高、特に電気料が令和4年に入ってから高騰し続け、令和5年4月からはさらに値上げすると報じられている。電気料高騰の中で高压電力契約の事業者の負担が特に大きいとされているが、どのように認識しているのか伺う。</p> <p>(5) 「デジタル推進事業」について 令和5年度は市デジタル化推進プロジェクトチームにおける検討内容を反映したデジタル化の取り組みを推進するとのこと。現在地方自治体ごとにシステム整備が行われ、各システムのデータ項目は統一されていない項目があると聞いている。こうしたバリアを取り除くシームレスな情報連携が今後実現していくと考えるとよいのか伺う。</p> <p>(6) 「デジタル推進事業」について 令和5年度に第4次地域福祉計画を策定することになっているが、高齢者に情報格差のない、デジタルデバイド解消に向けた支援を位置づけられないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 高野早苗	<p>1 令和5年度当初予算案の重点事業について</p> <p>(7) 「脱炭素化の推進事業」について 電気量の削減策としてLED化や太陽光発電などが再認識されている。令和5年度予算に公共施設照明等LED化推進事業費(対象11施設)として61,323千円計上されているが、これによって公共施設の何%がLED化になるのか、また、消費電力は何kwhから何kwhに減ると試算しているのか伺う。 LED化はかつてはメリットばかりでなく、デメリットもあると聞いたがLED化のデメリットはないのか伺う。</p>	総務管理部長
		<p>2 令和5年度予算関連事業について</p> <p>(1) 「ふるさと黒部サポート寄附」について 「ふるさと納税」の学習会に行ってきた福井県では県をあげて「ふるさと納税」に力を入れ、返礼事業者と丁寧に情報交換をしていた。一方、我が黒部市も令和3年度は1,868件4,356万円、令和4年度は1月末で5,907件1億4,502万円と驚異的に取扱額を増やした。まだまだ伸びしろがあると思われるが、昨年と本年度との働きかけや成果にどんな違いがあったのか、また令和5年度の目標額を伺う。</p> <p>(2) 「ふるさと黒部サポート寄附」について 「ふるさと納税」は、国が認めた自治体間のビジネスとまで言われている。本腰を入れてもっと取り組むべきと考える。専属職員を配置できないか伺う。</p> <p>(3) 予定される大型事業について 第40回の節目を迎えるカーター記念黒部名水マラソン開催にあたり、安全面も考慮した成功への意気込みについて伺う。</p> <p>(4) 予定される大型事業について 8月に開催が予定されている大相撲黒部場所は、宇奈月温泉開湯100周年とあわせ、市民に元気を与える事業として大いに期待される場所である。しかしながら、事業費3,005万円が先行し、市民に誤解があるのではと感じる。実態は実行委員会に対する貸付金とのこと。3点伺う。 ①大相撲黒部場所の内容、実行委員会の組織について ②貸付金という事は後々、返済されると思うがどのような形で実施されるのか ③開催にあたっての思いを伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 高野早苗	<p>2 令和5年度予算関連事業について</p> <p>(5) 人口減少に歯止めのかからない現在、産官民一体となつてのにぎわい創出を目指す一大プロジェクト生地駅周辺活性化促進事業は、国のモデル的な存在ではないかと期待している。生地駅周辺調査業務委託費として440万円が予算化されているが、どのような調査内容なのか伺う。</p> <p>(6) 道の駅KOKOくろべの瑞彩マルシェに並んでいる地場産の野菜が安くて新鮮と近隣の市町からも買いに来ておられるそうである。こうした例に限らず、生産者と観光が連携しながら販路を拡大し、ブランド力を高めていくことは、これからの農林水産業の振興に欠かせないと思われる。「産地 黒部」ブランド力向上事業のねらいについて伺う。</p> <p>(7) 農林水産業の担い手不足、高齢化問題は、特に水産業においてはより深刻な問題であると認識している。しかしながら これまでの取り組みでは担い手確保は難しく、先進地事例も参考にした新たな取り組みが必要になってきたのではと思われる。漁業担い手確保・育成事業のねらいについて伺う。</p> <p>(8) 今年3月をもって竹田黒部市民病院長が勇退される。長年にわたり大勢の命を救っていただいたことに深甚の感謝を申し上げる。これまでを振り返り、黒部市民病院の新川地区における基幹病院としての役割や今後の課題、展望について伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>病院長</p>
		<p>3 北方領土返還要求運動について</p> <p>(1) ロシアのウクライナ侵攻が、日本とロシア間の「北方領土」問題に及び、北方領土問題を含み平和条約交渉について「継続する意思はない」と中断を突きつけてきて一年になろうとしている。本市は北海道について北方領土とはゆかりが深く、北方領土返還要求運動にも先導的に取り組んできた。今日の逆境の時こそさらに声を高らかに上げるべきだと考える。北方領土返還要求運動に対する市長の決意を伺う。</p> <p>(2) 不法占拠されてからすでに80年近く過ぎている。北方領土返還要求運動を風化させないためにも子ども達に繋いでいくことが大切と考える。「百聞は一見に如かず」のことわざがあるが、歯舞群島の近さを根室の海を実際に見て肌で感じるなど、黒部の子ども達に北方領土を体験してほしいと願うものである。修学旅行で姉妹都市根室市に行けないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 高野早苗	<p>4 富山県パートナーシップ宣誓制度について</p> <p>(1) 「LGBTQ」と呼ばれる性的マイノリティのカップルや事実婚などを結婚に相当する関係として公的に認めることを「パートナーシップ制度」と言われている。富山県では3月1日から宣誓されたお二人に関係性を証明する「受領証」が発行されている。この証明証で今までできなかった、例えば医療機関において症状説明が受けられるなどパートナーとして認めもらえることが可能となる。誰もが多様性を認め合って、安心して生活できる社会への大きな一歩になることを期待するものだ。富山県はワンチームといわれるが、市町村との連携はあるのか。本市も富山県に準じて発行していくのか伺う。</p> <p>(2) お二人に未成年の子どもがいる場合、あわせて届け出ることが出来る「ファミリーシップ」に対する考え方について伺う。</p>	市長 市長
		<p>5 未来の大人への種まきについて</p> <p>(1) 来年令和6年4月発足に向けて、当市で「こども家庭センター」の設置準備がされると聞く。準備に至る経過と概要について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍により環境が変わった子ども達の行動を外に向けさせることは大切である。このため、公共交通を利用しながら、ふるさと再発見のような取り組みを推進できないかと考える。夏休み中は小中学生の市内公共交通を無料にして、出かけやすい環境をつくれぬか伺う。</p> <p>(3) 1989年11月20日第44回 国連総会において「子どもの権利条約」が採択され、日本も1994年に批准し、今年4月ようやく「こども基本法」が施行される。そうした中、昨年8月に、市内の小中学生代表による「名水の里くろべ 子どもの権利宣言作成委員会」が開催され、～こどもと大人の約束～名水の里くろべ こどもの権利宣言が作成された。この宣言を今後大人向け、子ども向けにどう啓発するのか伺う。</p> <p>(4) 子ども達の見地から「こども権利宣言」がされたのに合わせ、しっかりと法で子どもを守る「子ども権利条例」の制定が必要と思うが、その制定の考えについて伺う。</p>	市民福祉部長 市長 市民福祉部長 市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 大辻菊美	<p>1 令和5年度黒部市当初予算案について</p> <p>(1) 「住む人が輝き、人が人を呼び込む」まちづくり政策の推進に向け、予算特別枠として「黒部の未来枠」が予算案で示された。具体的にどのようなことを目途に取り組む予算なのか伺う。</p> <p>(2) デジタル化の推進について 「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が政府において令和2年12月に決定され目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されている。「市民の利便性」、「行政運営の簡素化」が図られる。マイナポータルを通じて、子育てや介護などの行政手続きの検索、オンラインの申請など、ワンストップのサービスを提供できるようになると考える。更なるデジタル化の推進について具体的な施策を伺う。</p> <p>(3) 人口減少、異次元の少子化対策について 未婚・晩婚が進む中、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などに伴い妊娠を控える傾向がある。多くの人が出産や産後育児に不安を感じるなど、新型コロナウイルス感染症の流行が少なからず影響を及ぼしたのではないかと見受けられる。本市においても黒部市結婚支援事業で若者たちの出会いの場「婚活イベント開催」なども展開している。少子化対策において「支援強化」が必要と考える。支援策について伺う。</p> <p>(4) 「自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり」について 重点事業 水力発電所可能性調査業務委託費がある。本市には、地域脱炭素の一役を担う小水力発電が宮野用水発電所と黒瀬川発電所がある。発電で得られる売電収入の一部を土地改良施設の管理費等に充当している。現在、民間企業においても温室効果削減のため田糸川流域での小水力発電を計画している。本市においても新たな水力発電の可能性調査実施を行うとのこと。調査河川、及び今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 大辻菊美	<p>1 令和5年度黒部市当初予算案について</p> <p>(5) 「豊かな心と生きがいを育み、人が輝くまちづくり」について 重点事業 うなづき友学館開館30周年記念事業費がある。複合館の利点を活かしての新規来館者の満足度アップを行うための取り組みについて伺う。 大相撲黒部場所開催事業費がある。8月下旬に市総合体育センターにて大相撲夏巡業「黒部場所」が宇奈月温泉開湯100周年に合わせ開催される。予算案に事業費3,005万円計上されているが事業実施体制、集客予定数、及び経済効果等について伺う。</p> <p>(6) 「市民と行政がともに支えるまちづくり」について 重点事業 くろべ市民交流センター管理運営費がある。 (仮称)くろべ市民交流センターが10月にオープン予定である。 「市民が集い学ぶ文化と交流の拠点」をコンセプトにした市立図書館、三日市公民館、市民会館、働く婦人の家、ほがらか子育て支援センターのほか、新たに移住・人つなぎ支援センター等の各機能が融合した施設である。クロスアシスト事業について伺う。</p> <p>(7) 武隈市政の1年間の総括についてと初めての当初予算編成、自身の「公約実現予算」に向けての思いをお聞かせ願いたい。</p>	市長 市長 市長
		<p>2 道の駅「KOKOくろべ」について</p> <p>(1) 昨年春4月22日にオープンして1年がたとうとしている。 国道8号が4車線化になった時の計画交通量利用を122万人と算定して施設利用者見込みを試算しているとのこと。現在は4車線化になっていないが来場者数99万人の目標をたてている。様々なイベント企画、開催をして取り組んでいるが2月現在で来場者数、約83万5千人である。後、2ヶ月弱で目標値に達することができるのか。また、見込みがない場合は、その要因について伺う。</p> <p>(2) 人を呼び込むためには定期的なイベント開催、春夏秋冬を通じて月2回隔週の開催、目玉商品、口コミ等がある。 工夫することで土日にかかわらず平日も来場者が増えるのではないかと思う。来場者を増やすための令和5年度計画について伺う。</p>	都市創造部長 都市創造部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 大辻菊美	<p>2 道の駅「KOKOくろべ」について</p> <p>(3) オープン当初は、来場者も多く8月末には50万人を超えたが日が経つにつれ土日を除くウィークデーでは来場者が少ない。 イベントが開催される土日は多くの家族連れで賑わっている。 残念なのは、瑞彩マルシェ(農林水産物直売所)のコーナーをみると冬季間とはいえ種類や量も少なく空間がある。先日、姉妹都市である大崎市の「あ・ら・伊達な道の駅」に視察に行ってきた。アンケートで来館目的をみると農産物直売が1番で200名を超える生産者が毎朝採れたての野菜を持ってきているとのこと。全国の農家やJAとのネットワークを使い常に野菜が多く陳列されている。来場者が多い道の駅は野菜が豊富である。 「KOKOくろべ」では設置コーナーも狭く人がまばらである。農林水産物直売所での出荷登録者が実出荷できるための支援、取り組みについて伺う。</p>	産業振興部長
		<p>3 黒部市民病院事業について</p> <p>(1) 市民病院では、医療等の支払いの授受を黒部市農業協同組合から2名の会計担当者が派遣されて業務を担っている。医療費自動支払機を設置することで、会計担当者の業務負担軽減、お釣りの渡し間違い(金銭授受時のトラブル防止)、混雑(待ち時間の解消)、会計担当者が紙幣や硬貨に触れないため衛生的等のメリットがある。市民病院での医療費自動支払機、設置の検討について伺う。</p> <p>(2) 無痛分娩は「硬膜麻酔」を用いて痛みをやわらげて行うお産です。 出産中に陣痛がやわらぐことでリラックスできる。出産時の赤ちゃんにかかる負荷が少ない。妊婦の体力の消耗が少なく産後の回復が早くスムーズに日常生活に戻ることができる。 しかし、デメリットもある。麻酔や合併症を伴うリスク等がある。急性期医療を担う総合病院には多くの麻酔科医がいるが手術麻酔を優先し無痛分娩まで手が回らないという施設が多いとのこと。市民病院においても無痛分娩が行われているが、妊産婦の初産、経産婦が自然分娩、無痛分娩を選択肢できるようニーズに応じていくべきと考える。市民病院の現状について、及び、今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>病院事務局長</p> <p>病院長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 大辻菊美	<p>3 黒部市民病院事業について</p> <p>(3) 富山県において地域医療構想の策定を進めており、各医療圏における令和7年に向けた医療機能毎の必要病床数が示されている。 現在、市民病院においては一般病床数358床、東病床7階で47床が休床していて合計405床である。看護師不足と伺っているが今後の病床運営見込みについて伺う。</p> <p>(4) 新川広域圏で市民病院と富山労災病院、あさひ総合病院とで救急告示病院として病院群輪番制を敷き、医療圏の休日・夜間における救急患者の診療を受け入れる体制を整備している。市民病院は2.5次救急を担っており、病院の規模から輪番日は50%となるように設定されているが輪番日でもない日も市民病院に搬送される患者が多く輪番が機能していないと聞き及ぶ。 現状と課題に対する取り組みについて伺う。</p> <p>(5) 本市は、宮城県大崎市とYKKグループ企業が立地する縁で長年に渡り交流があり令和2年10月8日に災害時等相互応援協定を締結、令和3年11月5日姉妹都市の締結を行った。大崎市とは市民交流、議会交流などを通じて相互のつながりを深めてきた。市民病院の働き方改革の推進とともに大崎市民病院と人事交流等を活発に行い今後の協定締結を視野に入れて検討しては如何か。市民病院の所見を伺う。</p>	<p>病院長</p> <p>病院長</p> <p>病院長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民志創会 成川正幸	<p>1 令和5年度予算編成基本方針について</p> <p>(1) 黒部の未来枠を推進していくにあたり、市長が描く目標達成のゴール設定はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) アフターコロナと原油価格・物価高騰対策について今後、どのような取組、支援を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 今回の電気料高騰を鑑みて、本市においても電力の地産地消や自給率を上げることを念頭に「小水力発電」を中心とした本市のエネルギー自給率を上げる取り組みを積極的に検討してはどうか伺う。</p> <p>(4) (仮称)くろべ市民交流センターを中心に三日市の街中に花と緑を増やしていく考えはないか伺う。</p> <p>(5) エネルギー確保と同時に市内にデータセンターの誘致を検討してはどうか伺う。</p> <p>(6) 本市の観光PRにもメタバースやCG映像を取り入れてみてはどうか伺う。</p> <p>(7) 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直しについて、なぜ見直しが必要なのかも含めて、あらためて現在の進捗とスケジュールについて伺う。</p> <p>(8) 令和6年4月1日より相続登記の申請が義務化されるにあたり、まずは本市としても広く市民に告知することや、市内外にいる固定資産税納税義務者に対して固定資産税納税通知書に相続登記の義務化のお知らせを同封するなど、法務省に協力し、適宜周知を推進すべきであると考えが見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>産業振興部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民志創会 成川正幸	<p>1 令和5年度予算編成基本方針について</p> <p>(9) 公共交通の自動運転の実証実験や実用化と今後の黒部市の公共交通を考えるシンポジウムを開催してはどうか伺う。</p> <p>(10) 公民館の機能強化とは、どのようなものを考えているのか伺う。</p> <p>(11) こども家庭センター設置のこの機会に子どもだけではなく、おとなの相談も含めた重層的な相談支援体制の構築に結び付けて欲しいと思うがどうか、伺う。</p> <p>(12) 黒部市の歴史を後世に伝える「語りつぎたい黒部人～黒部に足あとを残した人々～」の増版、改訂、続編の計画は無いのか、またそれに限らず先人たちの功績を紹介する機会を作る予定はないか伺う。</p> <p>(13) 「共創・協働のまちづくり」について3点伺う。 ①フォーラム等を開催してはどうか。 ②公民連携専門デスクを設置してはどうか。 ③その未来共創推進を行う公民連携専門デスクには、新しいアイデアと外と繋がりを強化して未来を創っていききたい職員を募集するのはどうか。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>教育部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>教育部長</p> <p>市長</p>

■ 提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	柳田守 (一問一答方式)	<p>1 くろべ市民交流センターの運営及び市立公民館の運用等について</p> <p>(1) 先に示された「くろべ市民交流センター管理運営実施計画」によると運営方式は開業時においては市直営とし、一体的な運営を目指して全体を統括するための組織とするため、センター長を置き、事務を掌理し所属職員を指揮監督するとある。まず直営に置ける組織体制と人員をどの程度見込んでいるか伺う。特にセンターの核となる施設である図書館の職員数と、うち司書資格を有する者の人数を聞きたい。合せて既存の施設(市民会館・働く婦人の家)の指定管理者である施設管理公社との関連を伺う。</p> <p>(2) 市民交流センターは、図書館を核として五つの事業分野が混在する複合施設と考えるが、それぞれの分野別サービスに加え各機能が有機的に連携した新しい発想や仕組みが生まれる「機能融合施設」を目指すとするが、その優位性等を具体的に伺う。</p> <p>(3) 使用料について伺う。現行の市民会館、働く婦人の家の料金体系を考慮し、また、「黒部市公共施設使用料基本方針」に基づき適切な使用料設定を行うとある。今条例案は、1時間単位の分かり易い設定で安価な使用料と考える。一方、三日市公民館利用者の使用料については、地区の社会教育活動は無料とし、それ以外は有料と説明があった。そこで「地区の社会教育活動」の定義を改めて伺う。</p> <p>(4) 今回、市民交流センターの設置条例提出に合わせ、「黒部市立公民館条例の一部改正条例」が提出された。これまでの市立公民館の管理基準を緩和し、社会教育活動を推進する機能に加え、住民や団体、企業等の多様化するニーズに対応できる施設として運営を行うことを目途に新たに地区の社会教育活動以外の利用に係る使用料を定めた。市民交流センター使用料同様1時間単位の分かり易い設定で安価な使用料と考えるが、「地区の社会教育活動」の定義を再確認したい。また、使用料の収受の方法について各地区から懸念の声もあったと聞くが、どのような実務を考えているか伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	柳田守 (一問一答方式)	<p>1 くろべ市民交流センターの運営及び市立公民館の運用等について</p> <p>(5) 図書館が構築する新たな基本システムについて伺う。自動貸し出しや蔵書検索等図書館システムの更新は日進月歩と聞く。移転後の新図書館の特筆すべきシステムを伺う。近隣図書館で採用されている「電子図書館」についても合わせて聞きたい。また、過去の質問で取り上げた蔵書予定数は、令和元年9月議会答弁では開架図書約16万冊、閉架図書約9万冊、計25万冊予定とあったが、令和3年12月議会では破棄すべき本の除籍作業を進め、約22万冊との答弁であった。現段階で開架・閉架を含め総蔵書数はどれ位を見込んでいるか伺う。</p> <p>(6) 今回の管理運営実施計画における事業プログラムの事業分野として、平成31年に定めた計画による「ビジネス支援機能」から「移住・人つなぎ支援」に振り替わったが、これに至る経緯や狙い、組織体制及び市長の思いについて伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 こども家庭センターの設置及び子育て支援策の充実等について</p> <p>(1) 本市において令和3年10月に市民福祉部こども支援課内に設置された子ども家庭総合支援拠点の概要及び体制並びに相談内容及び相談件数等を伺う。</p> <p>(2) 同じく平成28年4月に健康増進課内に設置された子育て世代包括支援センターの概要及び体制並びに相談内容及び相談件数等を伺う。</p> <p>(3) 令和6年4月に発足予定のこども家庭センターに求められる機能や予定される組織体制を伺う。厚労省の指針(例示)ではセンター長や統括支援員その他の専門職員の配置が必要と思うが現段階での構想人員数も合わせて伺う。</p> <p>(4) こども家庭センターの業務として、①児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談等、②把握・情報提供、必要な調査・指導等、③支援を要する子ども・妊産婦等へのサポートプランの作成、連絡調整、④保健指導、健康審査等が例示されているほか、民間資源・地域資源と一体となった支援体制の構築が求められている。本市における具体的な方策等を伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	柳田守 (一問一答方式)	<p>2 こども家庭センターの設置及び子育て支援策の充実等について</p> <p>(5) 全国的には、保護者への養育支援が特に必要、保護者による監護が不適當な児童、いわゆる要支援・要保護児童は約23万人、出産前において出産後の養育支援が必要な妊婦、いわゆる特定妊婦は約8千人とされる中さらなる支援の充実が求められるが、本市における現状と今後の支援・取組について伺う。</p> <p>(6) こども基本法は、令和5年4月のこども家庭庁の設置と相まって、従来、諸法律に基づいて国の関係省庁、地方自治体において進められてきたこどもに関する様々な取組を共通の基盤となるものとして、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していく包括的な基本法として制定された。国は「こども大綱」を定め、都道府県及び市町村は、こども大綱を勘案して「こども計画」を定めるとあるが、取組状況及び内容、計画への思いを伺う。</p> <p>(7) 新年度予算に示された子ども子育て施策に係る新規予算は、「黒部の未来枠」の子育てしやすい街づくりとふるさと教育に掲げる①こども家庭センター設置準備費(45万円)と②ふるさとキャリア教育事業推進費(35万円)に留まる。一方、政府は「異なる次元」の子ども関連予算に取組むとし、本年6月の「骨太の方針」で少子化対策など子ども・子育て予算の倍増に向け大枠を示したいとしている。これらは人口減少社会や少子化に打ち克つ最大の施策であると考えるが、本市における今後の対策や市長の思い、所見を伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	木島信秋 (一括方式)	<p>1 観光政策の強化について</p> <p>(1) 金沢市開催の目的について</p> <p>(2) 金沢でのシンポジウムの成果について</p> <p>(3) 馳石川県知事との連携もあるのか</p> <p>(4) 今後の取組・発信について</p> <p>(5) 新川地域全体で取り組む必要性について</p> <p>(6) 関西圏情報発信拠点計画(梅田3丁目計画)について</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長
		<p>2 防犯カメラ設置の考え方について</p> <p>(1) 防犯カメラは分類すると、どのようなものがあるのか</p> <p>(2) 本市全体での設置台数について うち、(1)公共施設 (2)企業 (3)コンビニ・商業施設</p> <p>(3) 新川地域の設置状況について また、県警察署の再編作業中であり、今こそ広域一体となって進めるべきであると考えますがどうか</p>	市民福祉部長 市民福祉部長 市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	木島信秋 (一括方式)	<p>2 防犯カメラ設置の考え方について</p> <p>(4) 経費について イニシャル、ランニングコストはどれくらいか</p> <p>(5) 警察、市、自治振興会の連携した運用が必要となるが、総合的な管理は市で行うべきではないか</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	中野得雄 (一問一答方式)	<p>1 高齢者等行方不明対策について</p> <p>(1) 高齢者の行方不明事案が報告されているが、予防・防止対策について、地区自治振興会や民生委員・児童委員との連携及び当市の取組について伺う。</p> <p>(2) 早期発見を目的として、防犯カメラあるいはGPS等を活用すべきと考えるが当市の考えを伺う。</p> <p>(3) 黒部警察署と連携を密にし、安全ネットメール等の周知を図ったりする事や、高齢者の不明事案が発生したときの市と警察・消防の連携体制を整備すべきと考えるが如何か。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>
		<p>2 市内消防団員について</p> <p>(1) 今年度、総務省通達により団員の処遇改善が行われ改善が進められたが、すぐには団員不足解消とはならないかと考える中、更に当市独自の支援策を行い対策を図って行くべきと考えるが如何か。</p> <p>(2) 今後さらなる消防団支援として、団員の活動拠点となる消防屯所を順次環境整備し、女性隊員も活動している事を考慮しながら、女性用トイレの設置なども配慮して行く事が大切と考えるが、当局の考えを伺う。</p> <p>(3) 全国的にも団員不足は深刻な問題となっている。支援策として飲食店とタイアップして実施している「消防団支援事業」について当市の実績と課題について伺う。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	中野得雄 (一問一答方式)	<p>3 宮野運動公園について</p> <p>(1) 桜の木の管理について、今年度整備実績と今後の整備計画について伺う。また、若栗地区へ通じる宮野運動公園からの遊歩道整備について併せて伺う。</p> <p>(2) 議案第32号である、黒部市納骨堂条例の一部改正での、納骨堂希望者への対応について伺う。</p> <p>(3) 既施設「ハイツ宮野」を整備し、桜と絶景を有している地の利を生かし、通年利用できるカフェ的な憩いの場として整備しては如何か伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	松倉孝暁 (一括方式)	<p>1 ワクチン接種について</p> <p>(1) インフルエンザワクチン接種について 今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されることから、高齢者の重症化を防ぐとともに、医療機関の負担を軽減することが重要である。昨今の物価高の影響を鑑み65歳以上の方等を対象とする季節性インフルエンザワクチンの定期予防接種の自己負担分の助成額を増やせないか所見を伺います。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種について 予定どおり5月8日に新型コロナ感染症が2類から5類へと分類移行がなされた場合、市としてどのような対応が予想されるのか当局の所見を伺う</p> <p>(3) 帯状疱疹ワクチンについて 帯状疱疹ワクチンについては不活性化ワクチンの予防効果が97%と非常に優れるが2回の接種が必要なこと、合計で4万円と高額なことから接種をためらわれている状況ではないかと危惧しています。 全国でも50自治体以上の自治体が助成をおこなっており、富山県では上市町が1回あたり5000円を助成している状況も鑑み、本市においても積極的な接種を呼びかけるためにもワクチンに対する助成ができないか伺います。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 若者の定住への取組と教育環境の整備について</p> <p>(1) 未来会議について 来年度は7回程度の開催計画とある。住民参加型の街づくりを期待しますが、地元高校生を中心に開く未来会議があると良いと思うが、所見を伺います。</p> <p>(2) インターンシップについて 実践型インターンシップがスタートした。形にはこだわりませんが高校生がより自分の将来設計を正しくできるよう職場を知る機会を提示していきたいと考えますが、地元高校生にも地域の魅力ある『人』また『企業』を知ってもらう機会を作るため、短期でのインターンシップをさらに水平展開できないか所見を伺います。</p> <p>(3) 『新幹線通勤通学支援補助金』制度の利用状況をお伺いします</p>	<p>市長</p> <p>産業振興部長</p> <p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	松倉孝暁 (一括方式)	<p>2 若者の定住への取組と教育環境の整備について</p> <p>(4) (仮称)くろべ市民交流センターの活用について 移住・人つなぎ支援センターとは具体的にはどのような機能を果たすのか伺います。あわせて高校生にとっては交流センターはどのような期待をもちうるのでしょうか伺います</p> <p>(5) 教育環境について 子供たちの未来に可能なかぎりの様々な選択肢を示していきたい。 新川広域圏内には正看護師の資格を取ることのできる教育施設はございません。看護専門学校の設置を求めているが所見を伺います。 背景として黒部市には新川広域圏の中心病院である黒部市民病院があり、学校と職場が一体となり教育環境を作れる市の強みがあるのではないかと。</p> <p>(6) あわせて桜井高校普通科に看護コースの設置の可能性も県に求めているが所見を伺います。</p>	市長 市長 市長
		<p>3 広域観光について</p> <p>(1) 本市が取り組む広域観光の効果について 2月23日金沢市において開湯100周年・北陸新幹線延伸シンポジウムが盛大に行われました。会場はほぼ満席で私自身も多くの学びを得られた有意義なセミナーに参加させて頂きました。本市が取り組む広域観光はどのような経済的な効果をもたらすとお考えでしょうか。所見をお伺いします。</p> <p>(2) 『かがやき』の黒部宇奈月温泉駅停車を求める働きかけを 2024年度春に北陸新幹線が敦賀まで延伸されます。黒部市にとっても首都圏・さらには関西圏からも注目が集まる絶好のPRの機会です。 本年度春のJRのダイヤ改正で富山駅から東京駅までの所要時間は2時間6分となり、黒部宇奈月温泉駅から東京まで『かがやき』であれば2時間を切る事が可能となります。この宣伝効果をワーケーション・観光振興・企業誘致等最大限波及させていきたい。またこの波及効果は新川広域圏に及ぶことから、新川広域圏で黒部市長を中心とする要望活動を行っていきたくと考えますが市長の所見を伺います。 1日1本だけないしDC期間のみの取り組み等可能性を迫りしていきたいと考えます。</p>	産業振興部長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	松倉孝暁 (一括方式)	<p>3 広域観光について</p> <p>(3) 広域的なイベントを育成 市民交流センターでのEスポーツのイベント開催を提案したい。定期的なイベント開催は、近隣の市町から集客できた場合には街なかの賑わい作りに大いに有効であると考えます。また近年Eスポーツはフレイル予防としても大きく注目を集めている。市民交流センターでの定期的なイベント開催を賑わいの拠点としての目玉施策をなにか作れないか所見を伺います</p>	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	家敷誠貴 (一問一答方式)	<p>1 黒部市における在宅医療、看護について</p> <p>(1) 疾病を抱えても、自宅などの住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けるためには、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要であるが、黒部市における在宅医療、訪問看護の状況について伺います(在宅医療、訪問看護を行っている医療機関、事業所、利用状況等)</p> <p>(2) 県内平均に比べ、新川地区、黒部市は訪問看護ステーションの施設数、利用者数が少ないが、原因をどのように考えているか。また、潜在的な利用希望者数についてはどのように考え、把握しているか伺います。</p> <p>(3) 全国の訪問看護利用者は増加しているが、黒部市内で在宅医療・訪問看護を行っている施設は減少傾向にある、黒部市としてどのように考えているか。また、黒部市民病院との連携はどのような状況か。黒部市民病院は在宅医療・訪問看護についてどのように考えているか伺います。</p> <p>(4) 在宅医療・訪問看護は利用者の自宅を訪問するため、移動のための燃料代や、物価高騰が負担になっており、令和4年度より支援策を行っていると聞いている。事業所からの距離が遠い場合、利用者宅を訪問できる回数が少なくなる。現在の支援策に加え、サービスの地域差を生じさせないためにも、遠方へ訪問した場合の支援策を行ってはどうか。</p> <p>(5) 厚生労働省の「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」では市町村は、地域包括ケアシステムの実現のため、都道府県と連携しつつ、在宅医療・介護の提供や連携に資する体制の整備を図るとともに、高齢者の居住に係る施策との連携や地域支援事業等の実施を通じて、介護予防及び自立した日常生活の支援を行うための体制整備を進めていくことが求められるとあるが、2040年問題等、今後も少子高齢化が進む事が予想されるなかで、どのように地域の医療を守るか、今まで以上に各事業所、団体等との連携を深める必要があるが、再度考えを伺います。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長 病院事務局長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	橋 詰 真知子 (一括方式)	<p>1 保育所・認定こども園・幼稚園について</p> <p>(1) 幼稚園・認定こども園・保育所、これらはそれぞれに管轄が違い、設置方針が異なっていることは理解しています。保護者の側からみると、おおまかに分けると、フルタイムで働く場合は「保育所」を選択し、働いていないかパートタイムなどの働き方の場合は「幼稚園」、そして、「認定こども園」は保育所時間と幼稚園時間とがあることで、就労状況に変化があっても同一施設内で受け入れてもらえるといった感覚を持っている人が多いのが実情だろうと考えます。 保護者のニーズについて、市は把握されているのか、また調査されたことがあるのかお伺いします。</p> <p>(2) さくら幼稚園の令和5年度の見込みは、3・4・5歳児いずれも1クラス、あわせて32人とのこと。 それぞれのクラスごとの人数について、令和4年度の現状、令和5年度の見込みをお伺いします。</p> <p>(3) 大布施地区内にあるさくら幼稚園が認定こども園になったら、中央小学校区内を希望する家庭の子どもの受け入れ先が増えることになると考えますが、この提案について所見をお伺いします。</p> <p>(4) 現状のままだと、今後も、人口が増えている地区では、同じ施設への入所を希望した家族の子どもたちが、第1希望が叶わず、同じ施設に入れられないという結果が増える可能性があると思われまます。そこで市は対策を講じるべきだと考えますが、見解をお伺いします。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>
		<p>2 「総合振興計画後期基本計画」について</p> <p>(1) 黒部市出身の市長が、現在の黒部市のまちをどう感じ、この先をどう描いていらっしゃるのか、市長の所見をお伺いします。</p> <p>(2) 市長にとって、ご自身の描く黒部の未来像と黒部市総合振興計画とをどのようにとらえていらっしゃるのか、その認識を市長にお伺いします。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	橋 詰 真知子 (一括方式)	<p>2 「総合振興計画後期基本計画」について</p> <p>(3) 市町村はそれぞれに、風土や人の気質も、規模や面積も人口も、さらには人口比率や男女比も、さまざまに違って、それぞれの市町村ごとに、そのまちに合うまちづくりをしているものと思っています。その違いこそがそれぞれの市町村の魅力であると私は考えています。 先進地事例をどんどん取り入れていたら、今ある黒部の良さはどうなってしまうのでしょうか。市長の見解をお伺いします。</p> <p>(4) 人も予算も限りがある中で、新しい事業をしていくにあたり、どのような職員の働き方をイメージしていらっしゃるのか。市長の所見をお伺いします。新しく増えた事業の数、減らす事業の数、それぞれの数を伺います。</p> <p>(5) 未来会議やスクールミーティングという中学生との懇談会において出た意見を「総合振興計画に反映させる」というような発言をなされたことについて、市長の見解をお伺いします。</p> <p>(6) 当初予定では、昨年10月頃に、審議会から市長に答申があり、12月定例議会に上程される予定だったと思います。12月定例会に基本計画が議決されていれば、総合振興計画に基づいて新年度予算や事業計画を策定し提案出来たというのが私の認識です。この経緯について市長の説明と見解をお伺いします。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	辻 泰 久 (一問一答方式)	<p>1 北方領土問題について</p> <p>(1) 岸田総理は北方領土返還要求全国大会で、脇千島歯舞諸島居住者連盟理事長の墓参だけでもとの要望に対しての返答は「期待している」との事でありました。このことに対しての所見を伺う</p> <p>(2) 同大会で根室高校の久保歩夢さんも、また富山市で開催された「北方領土の日」記念大会での作文も北方領土問題を全国に広めることと両国のリーダーが話し合いをして平和的に領土問題を解決することを訴えています。このことへの所見を伺います</p> <p>(3) 1月13日と14日に元島民の方々との座談会や北海道博物館の右代学芸員らによる「未来につなぐ北方四島の歴史・文化」が開催され元島民の体験や記憶を記録化して後世に繋ぐとの提案がありました。市長の所見を伺う</p> <p>(4) 特徴的なものの保存、継承、継承のための人材育成、四島に関する総合的な国施設開設、領土問題の国際的アピールなどを提言されたと伺っているが具体的にどのようにされるのか伺う</p> <p>(5) 戦後ソ連の侵攻により四島を追い出された人々が故郷に帰った時住む場所がなく、仕事すらなく引揚者たちに国が用意した北方住宅を後世に残さなければならぬと思いますが市長の見解を求めます</p> <p>(6) 残すためにはいろんな課題があると思いますが国の力を借りるために黒部市の文化財に指定しなければならないと伺いました。是非ともまずは文化財として指定していただくことを提案いたしますが市長の見解を伺います</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	辻 泰久 (一問一答方式)	<p>2 移住・定住について</p> <p>(1) 1月14日と1月15日東京ビッグサイトにおいて移住交流地域おこしフェアが開催されました。県内のほとんどの自治体に参加していますが本市が参加しなかった理由を伺う</p> <p>(2) 今後参加する考えがあるか伺う</p> <p>(3) 2022年の人口移動報告では東京都の転入超過幅が3年ぶりに増加したとの事であります。本市の状況を伺います</p> <p>(4) 本市から東京都や石川県等県外の大学に進学する人はどれくらいいるのか伺う</p> <p>(5) 特に、若い女性が都会へ流出すると伺っているが本市の状況を伺う</p> <p>(6) 富山県には、若い女性が進学する大学や就職する場が少なく転出超過に繋がっていると危惧するが、本市の状況を伺う</p> <p>(7) YKKの本社機能の一部移転の現況を伺う</p> <p>(8) (仮称)くろべ市民交流センターに移住促進の専門部署を設けるとの事であるがその狙いを伺う</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>市長</p>
		<p>3 空き家対策について</p> <p>(1) 本市の直近の空き家等の数また、その中に特定空き家等の数はどれくらいあるのか伺います</p>	<p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	辻 泰久 (一問一答方式)	<p>3 空き家対策について</p> <p>(2) 特定空き家に認定されている空き家はそのまま放置すれば倒壊など著しく保安上危険であると思うがなぜ解体して、整地されないのか、いくつかの原因があると思うがなぜ解体されないのか把握されているか伺う</p> <p>(3) 特定空き家の所有者は、解体の際に費用の一部補助があることを知らない人がいるのではないか伺う</p> <p>(4) 解体したら土地の固定資産税が上昇することから解体しないでいる人がいるのではないか伺う</p> <p>(5) 空き家バンクへの登録が他の市町と比べて大変少ないのではないか伺う</p> <p>(6) 他の自治体では除却後の「住宅用地特例」相当分の税額を3年間免除して早期除却を促進するとの事、本市でも除却促進のために特例を適用できないか伺う</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	野村康幸 (一括方式)	<p>1 消防団員確保に向けた取組や防災体制について</p> <p>(1) 黒部市消防団の条例定数に対し現在実員数が何名であるのか、また女性分団を含め市内17の分団で定数に達しているのが何分団あるのか、さらには災害支援団員が何名おられるのか最新正確な数字を伺う</p> <p>(2) 団員不足解消に向けて全国的見地からも入団年齢の上限撤廃や定年延長など規制等を緩和する動きが見られていますが、本市においても規制や条件緩和の対策を講じることを考えていないか伺う</p> <p>(3) 団員確保のための更なる取組を検討するお考えがあるのであれば、まずは若年層に対し興味関心を引くようなホームページ内容にリニューアルすることを検討できないか伺う</p> <p>(4) ホームページを幅広く周知する仕組み、例えば広報くろべにQRコードを掲載し読み込んでいただくとか、黒部市公式LINEで告知をすとか、黒部版入団促進キャンペーンと題し、チラシ及びポスターを作成し、ロコミによる勧誘活動で使用するなどの取り組みを検討できないか伺う。</p> <p>(5) 近年では「学生消防団活動認証制度」があり、年々導入率が上がってきていますが本市においても導入に向けた検討を行うことが出来ないか伺う</p> <p>(6) 黒部市消防団に入団している方のうち被雇用者は何名おられ全団員の何割程度になるのか</p> <p>(7) 「消防団協力事業者表示制度」が、15年以上経過した現在、協力事業者数が30社程度と普及率が悪いと考えますが、啓発活動のより一層の強化に努めると共に、認定基準の緩和あるいは明確化などの対策を講じる事が出来ないか伺う</p> <p>(8) 「消防団応援の店」のような取り組みを広く深く周知することで市内店舗の活力に繋がると共に、消防団員加入促進に繋がっていくと考えますが、今後広く深く周知することを検討できないか伺う</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	野村康幸 (一括方式)	<p>1 消防団員確保に向けた取組や防災体制について</p> <p>(9) 総合振興計画後期基本計画においても防災対策における予防対応と初動対応に重点を置き取り組むとはっきり明記されていますが、その概要について伺う</p> <p>(10) 避難行動の重要性を市民に周知啓発するべく、黒部市防災計画や自主防災組織の育成支援などの対策を講じておられるところですが、どこに何が備蓄されているのかが一目でわかるような一覧表を市内各公民館をはじめとした公共施設に配布・掲示することで更なる啓発に努めていくべきと考えますが所見を伺う</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p>
		<p>2 観光政策について</p> <p>(1) 金沢市において開催されました「宇奈月温泉開湯100周年/北陸新幹線延伸シンポジウム」につきまして、今定例会市長提案理由の中で『金沢市民を中心とした参加者への金沢市、宇奈月温泉との関わりを紹介と宇奈月温泉への興味を持っていただけた』と述べておられます。どのような観点からそのように思われたのか、今シンポジウム全体の所感と共に伺う</p> <p>(2) 今回金沢市での開催ということで全体集客数と黒部市民、金沢市民の人数割合について伺う</p> <p>(3) 100周年にちなんで100の事業を予定しているや、100以上の計画が決まったなどの話題も聞こえてはくるものの、現在いくつかの事業が計画されていて、いくつかの事業が終わっているのかが見えない部分があります。そこで、現在当局で把握しておられる事業数に、いくつかの計画があるのかまたいくつかが実施済みなのかを伺う</p> <p>(4) 記念式典などの内容等についても伺う</p> <p>(5) 黒部宇奈月キャニオンルートの現在の工事進捗状況はどれくらいであるのかを伺う</p>	<p>市長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	野村康幸 (一括方式)	<p>2 観光政策について</p> <p>(6) 昨年12月定例会において黒部宇奈月キャニオンルートを通るだけでなく、黒部市内で宿泊し、周辺の観光を楽しんでいただくなどの滞在型観光を目指しているのご答弁を頂きました。さらに市内全域の自然環境を活用した着地型旅行商品を関係各所と連携して取り組んでいくのご答弁されておられますが、現段階で具体的な商品プランが出来ているのか伺う</p> <p>(7) 次なる100年を見据える中で大きなイベントだけで終わらせるのではなくイベントをきっかけに永年継続可能なコンテンツが必要だと考えますが、お考えを伺う</p> <p>(8) 現段階でくろべ牧場まきばの風55周年や黒部市合併20周年に対する記念式典やイベント等を行う予定があるのか伺う</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	長谷川 恵 二 (一問一答方式)	<p>1 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画について</p> <p>(1) (1)いわゆるLGBTQへの差別解消に向けては、多様性の尊重などというひとりで済ませられるモノでなく、ロードマップの策定など具体的記載が必要ではないのか。</p> <p>(2) 同じくパートナーシップ宣誓制度の導入へはどのような道程を考えているのか、記載すべきでなかったか。</p> <p>(3) 本市は過去に非核平和都市宣言を採択しており、平和教育にも取り組んでいるが、これに対する言及が記されていないようだが、今後はどうするつもりなのか。</p> <p>(4) 生地駅周辺活性化構想については、その費用規模からいっても個別の論議が必要と思うが、論議なしに今の後期計画に載せるべき十分な理由はいまだに説明されていない。あらためて聞きたい。</p> <p>(5) 住民参加を拡大するというのなら、上記生地駅構想など大規模な事業について市の負担が必要な場合は、全住民に意思を問う住民投票制度の活用が不可欠と思うが、どう考えるのか</p>	市長 市長 市長 市長 市長
		<p>2 少子化・子育て支援対策と国民健康保険制度について</p> <p>(1) 国民健康保険税に均等割の制度があるため、扶養家族となっている子どもの人数が増えれば増えるほど国税も増え、扶養されている子どもが就業するまで続くことになる。これでは少子化・子育て支援にならない。 黒部市で、国民健康保険税の均等割が適用される子どもがいる家庭の数とそのこどもの人数、適用される金額の合計はいくらになるのか。</p> <p>(2) 均等割はサラリーマンが加入している健康保険制度にはない。制度改善を国に求める事が必要であると考え、どうか。 全国で均等割を廃止している自治体、減免制度を導入している自治体はいくらあるか。</p>	総務管理部長 市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	長谷川 恵 二 (一問一答方式)	<p>2 少子化・子育て支援対策と国民健康保険制度について</p> <p>(3) 全国の知事会など地方団体は、国に均等割の見直しを求めている。子育て支援の観点から言えば私はもっともな要求だと思う。 国の制度改善を待つのでなく、黒部市独自でできる均等割の廃止や、子どもの多い世帯や一人親家庭の子どもの均等割の免除、あるいは減免制度を導入することが必要と考えるが、どうか。</p>	市長
		<p>3 高齢者の医療・介護制度について</p> <p>(1) 黒部市で後期高齢者医療制度に加入しているのは何名で、2割負担になったのは何名か、その負担総額はいくらか。</p> <p>(2) 政府は出産育児一時金を42万円から50万円に引き上げることを選んだが、その財源を後期高齢者医療制度から拠出することも決めた。 そのため保険料の値上げをすることになる。最終的には年収153万円を超える加入者、全体の4割が対象になるといわれている。ただでさえ厳しい生活環境にあり、新たな収入を求めにくい高齢者の負担をさらに重くすることには反対である。 黒部市の後期高齢者医療制度加入者のうち、負担増の対象となるのは何名で、1年間の総負担額はいくらか。富山県後期高齢者医療広域連合の議員である市長の考えはどうか。</p> <p>(3) 居宅介護サービス利用前の健康診断書について、厚生労働省事務連絡平成13年3月28日付けの文書が、2月28日に県介護保険担当部局より介護保険事務組合及び市民福祉部宛に届いているはずだが、介護事業者や医療関係者に徹底されているのか。 共通診断書が廃止される4月1日以降、居宅介護サービス利用者は、必要のない健康診断書をもとめられることはないのか、確認したい。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	長谷川 恵 二 (一問一答方式)	<p>4 道の駅「KOKOくろべ」について</p> <p>(1) 市民から農林水産物直売所、出荷物の少なさについての苦情をよく聞く。開業前から「地域振興施設」農林水産物直売所への出荷量が懸念されていたが現在、どのような状況なのか。</p> <p>(2) 令和元年に、「道の駅(仮称)くろべ」についての施設利用者数、収支予測、経費等について目標が示された。開業後1年となる4月22日まで約1か月半あるが、施設利用者数(年/約99万人)損益分岐点売上高(年/5億300万円)客単価(人・日/1,030円)道の駅に係る経費(年間/約4千万円)指定管理従業員数(正規2・非正規3)となっている。それぞれの目標を達成できるのか。</p> <p>(3) 市民が待ち望んでいる、誘致ゾーン(北側)温浴施設、「湯屋FUROBAKKA」が6月にオープン予定である。残る誘致ゾーン(南側)約0.8haの土地の利用予定はどうなっているのか。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>
		<p>5 出し平ダム・宇奈月ダムの連携排砂について</p> <p>(1) 今年度、出し平ダムでの目標排砂量は約5万立米、想定変動範囲は約11万立米であった。来年度の排砂は、昨年(2019年)の8月～今年(2020年)の5月迄の土砂堆積と、前年度(2019年)の目標排砂量5万立米、想定変動範囲は約11万立米を合わせた土砂になる。大量の土砂を一度に排砂すれば、自然界に及ぼす影響が大きい。土砂を6月～8月、年1回の排砂とするのではなく、一定の出水のたびに排砂・通砂を行うべきだと思うが、どうか。</p> <p>(2) 昨年の連携排砂は、出し平ダムへの流入量が、中止基準流量を下回ったため、連携排砂体制に入っていたが中止になった。黒部川・富山湾を考える会の皆さんは、出し平ダムへの流入量、中止基準流量を下回るならば、上流ダムの放水によって中止基準流量を確保すべきだと述べてきた。的を射た考えであると思うが、どうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	長谷川 恵 二 (一問一答方式)	<p>6 黒部宇奈月温泉駅周辺整備について</p> <p>(1) 市民からは駅東、駅西も、市民がまったく期待していたように成っていないとの声が多くある。駅開業から8年、現在の駅周辺をどの様に見ているか。</p> <p>(2) 2024年6月、関電黒部ルートが黒部宇奈月キャニオンルートとして一般開放される。今後、新幹線や高速道路を利用しての観光客も多くなると予想される。黒部宇奈月キャニオンルート開放に向け、黒部宇奈月温泉駅周辺の整備を準備していかなければならない。市長としての考えはどうか。</p> <p>(3) 5年度予算に新幹線駅西側利用者利便ゾーン周辺整備事業予算7千5百万円が計上されている。住民や元地権者からの要望の多い、西側利用者利便ゾーン、駅東ロータリー、駅東芝生広場の使用変更等は、住民の声を反映すべきと思うが、どうか。民有地を買収するとの事であるが、買収後の使用はどのようにするのか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	古川和幸 (一問一答方式)	<p>1 運転免許自主返納と公共交通のあり方について</p> <p>(1) 高齢者運転免許自主返納支援事業について 総合振興計画後期基本計画にもとづく自主返納支援事業(令和3年198名→令和9年300名)の具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 高齢者運転免許自主返納支援事業の支援メニューについて フリーパス券の付加価値(商店街等の特定サービス・特典等)について伺う。</p> <p>(3) 地域公共交通計画について 将来を考えた地域交通ネットワークの整備推進について伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>都市創造部長</p>
		<p>2 移住定住・交流人口の拡大について</p> <p>(1) 官民連携による移住定住施策について 今後の県外向けPR活動の施策について伺う。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊について 令和5年度における地域おこし協力隊の募集について伺う。又来年度における活動内容について伺う。又本市が思い描く地域おこし協力隊のビジョンについて伺う。</p> <p>(3) 移住定住における住まいについて 市営住宅(特定公共賃貸住宅)を利用して、移住者向けの住宅としての活用について伺う。(入居要件の緩和・家賃補助等)</p> <p>(4) (仮称)くろべ市民交流センター内「移住・人つながり支援センター」の活用について 移住定住の促進と関係人口増加施策の推進を強化していく中で、「移住・人つながり支援センター」の活用方法について伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>教育部長</p>

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式